

都城工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	設計製図
科目基礎情報					
科目番号	0014		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	機械工学科		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	「機械製図」 林 洋次ほか共著 (実教出版)				
担当教員	佐藤 浅次, 増井 創一				
到達目標					
1. 日本工業規格など良く理解し、製図用具を正しく用いて、線や角の分割、平行線、多角形、線の接続、平面曲線が作図できること。 2. 立体を平面図面として表現する基本的考え方を理解し、等角図や展開図を使った作図ができること。 3. 基本的事項、図面の配置、断面図示、回転図示の方法、寸法記入の方法を理解し明確に記入できること。 4. 品物を製作する上で公差とはめあいの重要性を理解し、製作の実現が可能な製図ができること。					
ルーブリック					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1		線や角の分割、平行線、多角形、線の接続、平面曲線を組合せた発展的な作図ができる。	日本工業規格など良く理解し、製図用具を正しく用いて、線や角の分割、平行線、多角形、線の接続、平面曲線が作図できる。	線や角の分割、平行線、多角形、線の接続、平面曲線のどれかが作図できる。	
評価項目2		自己の判断で、任意の立体を投影図、等角図、展開図から適した作図法を選定し、作図できる。	立体を平面図面として表現する基本的考え方を理解し、投影図、等角図、展開図を使った作図ができる。	投影図、等角図、展開図のどれかを使った作図ができる。	
評価項目3		自己の判断で図面に適した、本的事项、図面の配置、断面図示、回転図示の方法、寸法記入の方法を選定し、作図できる。	基本的事项、図面の配置、断面図示、回転図示の方法、寸法記入の方法を理解し、作図できる。	基本的事项、図面の配置、断面図示、回転図示の方法、寸法記入の方法のどれかが正しく作図できる。	
評価項目4		公差とはめあいを適切に選定し、自己で任意の実際に製作が可能な図面を作図できる。	品物を製作する上で公差とはめあいの重要性を理解し、作図ができる。	公差とはめあいの記入を記入した製図が、作図ができる。	
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育目標・サブ目標との対応 2-2					
教育方法等					
概要	機械製図に関する基本的な規格や知識を習得すると共に、簡単な機械部品に関する機械製作図を作製できる能力を身に付ける。				
授業の進め方・方法	教科書、製図用具一式の準備を怠らないこと。 教科書を事前に閲覧し、自己学習を十分に行うこと。				
注意点					
ポートフォリオ					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	設計者の考えを正確に製作者に伝えるために日本工業規格などを理解する。	図面の役割と種類を理解できる。	
		2週	製図用具の使用法を実技として修得する。	製図用具を正しく使うことができる。	
		3週	線の種類と用途について学び、製作者に解るように明確に書くことを修得する。	線の種類と用途を説明できる。	
		4週	線や角の分割、平行線、多角形、線の接続などについて学び実技を修得する。	線や角の分割、平行線、多角形、線の接続ができる。	
		5週	4週目の続き		
		6週	立体を平面図面として表現する基本的考え方を理解する。	品物の投影図を正確に書くことができる。	
		7週	6週目の続き		
		8週	各種形状の製図演習。		
	2ndQ	9週	8週目の続き		
		10週	前期中間試験 試験答案の返却及び解説		
		11週	一つの図面として品物の形状を表すための方法として等角図などを学び理解する。	品物の形状を立体的に書くことができる。	
		12週	11週目のつづき および 角柱、円柱などの面を一平面上に広げた展開図について学び理解する。		
		13週	12週目のつづき		
		14週	学んだことの製図演習。		
		15週	14週目のつづき		
		16週	前期末試験 および 試験答案の返却及び解説		
後期	3rdQ	1週	尺度、表題欄、部品欄など製作図の基本的事项を学び理解する。		
		2週	図面の配置、断面図示、回転図示の方法などを理解する。		

4thQ	3週	2周目のつづき	
	4週	製作するためには寸法の重要性を理解し明確に記入し、その方法を学び理解する。	
	5週	4週目のつづき	
	6週	5週目のつづき	
	7週	学んだことの製図演習。	
	8週	後期中間試験 試験答案の返却及び解説	
	9週	品物を製作する上で公差の重要性とはめあいなどを学び理解する。	
	10週	9週目のつづき	
	11週	10週目のつづき	
	12週	総合的なものとして製図演習。	
	13週	12週目のつづき	
	14週	13週目のつづき	
	15週	学年末試験 および 試験答案の返却及び解説	
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	機械系分野 製図	図面の役割と種類を適用できる。	4	
			製図用具を正しく使うことができる。	4	
			線の種類と用途を説明できる。	4	
			物体の投影図を正確にかくことができる。	4	
			製作図の書き方を理解し、製作図を作成することができる。	4	
			図形を正しく描くことができる。	4	
			図形に寸法を記入することができる。	4	
			公差と表面性状の意味を理解し、図示することができる。	4	

評価割合

	定期試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品実技	その他	合計
総合評価割合	40	0	0	0	60	0	100
知識の基本的な理解	30	0	0	0	25	0	55
思考・推論・創造への適応力	10	0	0	0	10	0	20
汎用的技能	0	0	0	0	25	0	25
態度・志向性(人間力)	0	0	0	0	0	0	0
総合的な学習経験と創造的思考力	0	0	0	0	0	0	0